

青森市町会連合会事務局発行
事務局
 (たより)

91号 58. 1

○ 螢沢町会誕生

町会長氏名 小林 正規
 現住所 駒込字螢沢四八番六二
 所属 東部第十区連合町会
 世帯数 二十二世帯

十一月四日付、戸山団地へ螢沢町会誕生、これで市内の町会数は三三九町会となった。今後戸山団地の整備が進むに従い、同地区の町会数も更にふえる見込みである。

○ 総務部会 11/12

- (案件) (一)・三十周年記念事業の予算について
 (二)・町内婦人のつどいの内容検討
 (三)・コミュニティづくりについて
- (一)記念事業の予算について事務局より原案説明、市の助成金と当会三カ年の積立金を充当し、寄付、広告料にたよらない方針を確認。
 (二)「婦人のつどい」については、事前に研究されたテーマについて、実績発表や討論を行う方向を考える。
 (三)コミュニティづくりについては、市総務課より楢引係長も出席し町会より提出の文書について、市としての要望など出された。

(楢引係長)

○各町会より提出された書類をみると、こちらの名簿にある世帯数との差が非常に多い。これは、五十七年度、市町連の名簿に記載された(5/10現在)世帯数が基準である。
 ○申請書提出の以前に実績報告書をさきに提出の町会もあるが困る。
 ○町会で口座のないところもあるが、百円でも預金して口座をつくってほしい。とりあえず口座のない町会は、直接市役所へきて、補助金を受取ってほしい。

○コミュニティづくりに町会の事業が適用するかどうかの問い合わせが多い。

○例えば、植樹に十万円支出、業者に支払って完了、町民は一切関与しないというのでは、趣旨からみてもまずい。また、盆おどり一つで十五万円支出、交付金は六万円だからこれひとつだけで超過したから他の行事は、書かない町会もあるが、実施したものは全部書いてほしい。

○町会所属の子ども会、老人クラブ、婦人部等の行事も該当する。
 ○地区連合町会への補助金は、単位町会の文書をまとめた指導したりするにあたり、電話料、文書費、会議費、バス代等の経費に充当してほしい。

○コミュニティづくり補助金は、全町会分の予算を計上しているのでも、百万円かかって、申請費×120円+2万円がその町会への年間交付金である。

なお、実施済みの事業費が交付額を超えた場合、実績報告書を提出してもよいが、交付金は一回限りである。事業費が五〇万円かかって、百万円かかって、申請費×120円+2万円がその町会への年間交付金である。

○ 祝、市民表彰受彰

昭和五十七年度、当会より推せんの受彰候補者十三名中より次の七名の方が受彰決定した。おめでとうございます。

- 造道町会長 福山 正 晴氏
 港町町会長 工藤 正 實氏
 上野町町会長 神 豊 一氏
 東上古川町会長 佐々木 善 司氏
 南三上町会長 葛 西 喜代衛氏
 甲田町町会長 藤 森 克 己氏
 山ノ手町会長 川 村 繁次郎氏

○ 除排雪説明会出席状況

- 十一月十五日(月)午前九時三十分～於文化会館
 東部地区町会数七九 出席町会長六一名
 十一月十五日(月)午後一時 ～ 於文化会館
 南部地区町会数八八 出席町会長六二名
 十一月十六日(火)午前九時三十分～於文化会館
 中部地区町会数五八 出席町会長三五名
 十一月十七日(水)午前九時三十分～於石江会館
 西部地区町会数八四 出席町会長五七名
 十一月十八日(木)午前九時三十分～於油川福祉館
 北部地区町会数三〇 出席町会長二六名
 合計町会数三三九町会中出席町会数二四一町会(出席率七一一%)

○ 回覧板再度製作

前回スポンサーの関係で、一、二〇〇枚より製作できなかったが、こんど別の業者に依頼し、再度製作することになった。三月末迄に出来る見込み。スポンサーが予定通り獲得できれば無料になるが、現物入荷の際は、さきのアンケートで要望された町会へご連絡します。

○ 建設部会 12/8 於事務所

(案件) (一)・五十七年度除排雪の対応について市民協力の具体的な問題点

(二)・電気料補助金の現況と今後の対応策について

○ 福祉部会 12/10 於事務所

- (一)・子ども会の設置育成
 (二)・冠婚葬祭の合理化のすすめ方

○ コピー機購入

新鋭最新型コピー機 (EP310) 購入しました。購入費三十五万円は運営資金より支出。
 ○例年、向寒の季になると、新聞紙上へ黒枠広告がふえる。寒気は毒気になる人が多い。
 ○健康には充分ご留意ください。

○ひそとある 海鳴る村は 冬ごもり (K)

